

美術学部先端芸術表現科

養成人材およびカリキュラム編成の方針

先端芸術表現科は、これまで国際的な場で活躍するアーティストや表現者を多数輩出して来ました。その実績を踏まえて、今後も、新たな表現領域を創造・研究し、アートを社会に向けて開いていくことができる人材の養成を目指します。カリキュラムは、写真、工作、音楽、映像など様々な分野のメディアを横断して美術および隣接する表現を実践的に学ぶとともに、ディスカッションやプレゼンテーションなどを通して多様な考え方を共有し、広い視野と創造性を育むための総合的な教育を行います。

求める入学者像

- ・自らの表現を探究するとともに、社会への関心と問題意識をもっている。
- ・アイデアを作品にしていくために必要となる構想力・造形力が認められる。
- ・好奇心をもって継続的に学業に取り組む強い意志がある。
- ・他者の価値観や表現を尊重し、協働することに対して積極的である。

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「卒業制作」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を授与する。

カリキュラム構成

【学部1-2年次】

1年次では、実技・必修講義など授業を上野校地で行います。様々な専門性をもつ教員によるスタジオでの演習授業を中心に、アカデミックスキル、コンセプトメイキング、写真、デザイン、工作・立体造形、身体表現、音楽、映像など、多様な手法を学び、表現活動に必要な基礎的な知識や技術の習得を目指します。また、芸術批評と理論を学び、リサーチやプレゼンテーションに必要な語学力を養うことにより、読解力や創造的な思考力を鍛えます。実技と理論の両方をバランスよく学び、多彩な経験を積み重ねることによって、新たな表現を生み出すための能力や素養を身につけていきます。

2年次は、基本的に実技授業は取手校地で行います。前期の「スタジオ選択カリキュラム」では、1年次に学んだ知識や技術を応用し、興味のあるメディアを選択し、独自の表現方法を探究します。後期の「フィールドワーク」では、グループワークを基本として学外の特定の地域をリサーチし、そこで得られた知識や情報に基づきながら作品制作を行います。異なる個性や意見を持ったメンバーが綿密なリサーチ、議論、交渉を行い、作品プランを実現させる一連のプロセスを学びます。「ポートフォリオ制作」では、画像編集からレイアウト、製本に至るエディトリアルデザインを学び、過去の自分の活動をまとめて他者に伝えるための技術を習得します。さらに、2年次の成果は学生の主体的な企画・運営によって開催されるアートイベント「取手藝祭」で一般公開します。

【学部3-4年次】

3年次は、教員別の「研究室」に所属し、専門的な指導の下、自分の専門性を模索、思考し創作研究を行います。各研究室の内容は多岐に渡り、個人制作と研究室での活動との両輪をうまく利用して、さらに表現の幅を広げていくことが求められます。また、「IMA実技Ⅲ」で、展示を実践する経験を積み重ねます。2～3年次に選択履修できる「IMA演習」は学年横断的に行う短期集中の演習授業で、表現に対する知見を広げていきます。「古美術研究旅行」では毎年テーマを設定し、熊野、奈良、京都を中心に日本の古美術を見学します。本科独自の行程により、日本の伝統文化・美術に対する造詣を深めます。

4年次は、卒業制作を中心に、これまでの制作・研究活動を集大成として所属研究室の教員の指導の下、領域横断的理論と実践を鍛えていきます。前期に「WIP (Work in Progress) 展」、後期には「事前審査会」「最終審査会」と段階を踏みながら進み、「卒業修了作品展」に向けては個々の作品制作と

ともに、展覧会の企画運営にも学生が主体的に取り組んでいきます。集大成の展示である「卒業修了作品展」は、毎年1月末頃に東京都美術館で開催し、イベント、広報デザイン、展示配置など、学生が主体となり展覧会を運営します。

教育目標

- ①社会に向けてアートを開くための実践を学ぶ
- ②さまざまな技術や発想を学び、新たな表現を創造する力を身につける
- ③国際的な視野をもって今日的課題に取り組む

年次	科目		ディプロマポリシー	教育目標
1～4年次	必修科目	IMA 実技Ⅰ～Ⅳ	1,2,3,5	①②③
3年次		IMA 演習Ⅰ・Ⅱ		
3年次		古美術研究		
4年次		卒業制作Ⅰ・Ⅱ		
1～4年次	指定科目	外国語 IMA 概論A・B・C メディア概論Ⅰ・Ⅱ 現代芸術概論Ⅰ・Ⅱ	1,2,3,4,5	①②③
1～4年次	選択科目	写真表現演習Ⅰ・Ⅱ 映像演習Ⅰ・Ⅱ 空間造形演習Ⅰ・Ⅱ 立体表現演習Ⅰ・Ⅱ メディアデザイン演習 サウンドアート概論Ⅰ・Ⅱ ドローイング演習 プレゼンテーション論 西洋美術史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 日本美術史概説Ⅰ・Ⅱ 美学史概説Ⅰ・Ⅱ 拡張するファッション論	1,2,3,5	①②③